

学校研究について

(1) 研究主題

認め合い、高め合う授業をめざして

～体育科の授業を通して～

(2) 主題設定の理由

昨年度は、「学んだ力を活かして思考し判断し表現する子をめざして～算数科の授業を通して～」を研究主題として掲げ、算数科を中心に授業実践を重ねてきた。まず、基本的・基礎的な知識・技能の定着を図る。そして、その力を土台として習得された新たな基本的・基礎的な知識・技能を次の学習の土台とすることを繰り返し、「思考し判断し表現する力」をより高めることをめざしてきた。また、「自力で考え、集団で考え、再度自力で考えて習熟を図る」という流れの授業を大切にしながらその力を育ててきた。

しかし、授業研究は深まったものの、そのような授業が成立するために必要な学級づくりの面で課題が残されたままである。自分の考えを伝えたいという意欲、他人の考えを認めようとする心、互いに高まろうとする意識などの弱い児童が多く見られる。そのため、集団の学びでの深まりが十分でなかった。また、授業規律も含め、学習に向かう姿勢が十分でないため、めざす授業にたどり着けないということもあった。

そこで、今年度は、「認め合い、高め合う授業をめざして」を主題とし、体育科の授業を通して研究を進めることにした。体育科は目標の中で、「楽しく明るい生活を営む態度を育てる」ことを目指している。これを達成するために行う体育科の授業の中で「規則を守る、励まし合ったり協力したりする、公正に判断する」などの力をつけながら、学習に対する構えや態度を養い、望ましい人間関係を培っていくことを学んでいけると考えたからである。さらに、体育の授業研究を通して得たことを他の教科や学級経営にも活かしていく。その実践の積み重ねによって学級の力が高まり、「認め合い、高め合う授業」が成立するはずである。

児童が大好きな教科である体育を核に、全職員で共通理解を図りながら「認め合い、高め合う」授業づくりを進めていきたい。

(3) 研究の全体構想図

